

日本学術会議第167回総会資料

(第22期 第7回)

平成26年 7月11日(月)

日本学術会議

一般的注意事項

1 出席のサインについて

総会に出席される方は、受付で出席のサインをお願いします。

2 旅費の支給について

旅費請求書を配付いたしますので、押印してください。

3 発言する場合

発言を要求する際には挙手をし、議長から指名された後に、最寄りのマイクを通して所属部、氏名を言ってから発言してください。

4 委員会開催の周知について

休憩時等に委員会を開催する場合は、エレベーターわきの電光掲示板にてお知らせいたします。

5 その他

配付資料については、総会散会后回収させていただく資料2-別紙を除き、お持ち帰りいただきますようお願いいたします。

なお、不要な資料は席上にお残してください。

第167回臨時総会日程

— 第22期第7回 —

第1 日程表

	10:00	12:00	13:00	14:30 メド	16:00
7 月 11 日 (金)	各種委員会等	昼休み	総会	部会	幹事会
			○会長活動報告 ○提案事項説明・採決 ・第23-24期会員候補者の承認【非公開】 ・日本学術会議細則の一部を改正する決定案【公開】 ・日本学術会議事務局組織規則の一部を改正する規則案【公開】		

(上記の日程は、変更される場合があります。)

第2 会場

総会……講堂

部会……各部会議室

幹事会……大会議室

その他委員会等……配布資料、掲示板等で通知

報	1
総 会	167

日 本 学 術 会 議 活 動 状 況 報 告

平成 26 年 7 月 11 日

前回（第 166 回）総会以降の活動状況報告

第 1 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
4 月 17 日 (木)	総合科学技術会議有識者議員会合	大西会長
4 月 17 日 (木)	春の園遊会(赤坂御苑)	家副会長
4 月 24 日 (木)	総合科学技術会議有識者議員会合	大西会長
4 月 24 日 (木)	オランダ国王陛下誕生記念レセプション (オランダ王国大使公邸)	大西会長
4 月 27 日 (日) ～4 月 29 日 (火)	KNAS、KAST 等訪問 (韓国)	春日副会長
5 月 1 日 (木)	日本地球惑星科学連合 25 周年記念式典 (パシフィコ横浜)	大西会長 春日副会長
5 月 8 日 (木)	総合科学技術会議有識者議員会合	大西会長
5 月 9 日 (金)	EU 拡大 10 周年／駐日 EU 代表部開設 40 周年記念レセ プション(駐日欧州連合代表部)	大西会長
5 月 13 日 (火)	イスラエル・ネタニヤフ首相招待昼食会 (パレスホテル東京)	大西会長
5 月 13 日 (火) ～5 月 18 日 (日)	IAP 執行委員会/IAC 理事会(イタリア・ローマ)	大西会長 春日副会長
5 月 19 日 (月)	福島県「県民健康管理調査」検討委員会	春日副会長
5 月 22 日 (木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者議員会合	大西会長
5 月 23 日 (金)	総合科学技術・イノベーション会議有識者議員会合本 会議	大西会長
5 月 29 日 (木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者議員会合	大西会長
6 月 5 日 (木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長

6月6日(金)	京都大学生存圏研究所創立10周年記念式典	大西会長
6月9日(月)	ヨルダン国王即位15周年、第68回独立記念日記念祝賀会	春日副会長
6月10日(火)	福島県「県民健康調査」検討委員会第3回甲状腺検査評価部会	春日副会長
6月12日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長
6月12日(木) ～14日(土)	WSF STEERING meeting (ハンガリー・ブダペスト)	春日副会長
6月17日(火)	第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会 開会式及びレセプション(パシフィコ横浜)	大西会長
6月17日(火) ～20日(金)	第14回アジア学術会議(マレーシア・クアラルンプール)	大西会長 春日副会長
6月23日(月)	日本学術会議主催学術フォーラム「国際リニアコライダー(ILC)計画」	家副会長
6月25日(水)	第28回国際コンピュータ支援放射線医学・外科学会議 開会式(福岡国際会議場)	春日副会長
6月26日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長
6月27日(金)	公開シンポジウム「航空宇宙、船舶海洋分野における研究開発と利用応用の橋渡しとバランス～双方向の流れをめざして～」	家副会長
6月30日(月) ～7月1日(火)	フランス・日本シンポジウム「エネルギーの将来のための先端材料科学(エネルギー生産・貯蔵のための高信頼性・耐久性・安全性の材料に向けて)」	大西会長 家副会長 春日副会長
7月4日(金)	中部地区会議学術講演会「地方から世界を目指す先端研究ー分子イメージングと遠赤外光ー」(福井県) ※講演	家副会長
7月6日(日)	日本学術会議主催学術フォーラム「立法システム改革と立法学の再編」	小林副会長
7月7日(月)	日本学士院第104回授賞式	(事務局長)
7月8日(火)	日米STIE(科学技術、イノベーション、教育)協力第2回オープン・フォーラム	春日副会長

(注) 部会、委員会等を除く。

第2 表敬訪問

月 日	行 事 等	対 応 者
7月10日(木)	韓国行政研究院(KIPA)院長来訪(会長室)	大西会長 春日副会長

第3 提言等の承認

○提言

- 1 東日本大震災復興支援委員会 災害に強いまちづくり分科会
環境学委員会 環境政策・環境計画分科会
提言「いのちを育む安全な沿岸域の形成に向けた海岸林の再生に関する提言」
(平成26年4月23日公表)
- 2 物理学委員会 物性物理学・一般物理学分科会
提言「物性物理学・一般物理学の学術研究のさらなる振興のために」
(平成26年5月7日公表)
- 3 情報学委員会
提言「我が国の学術情報基盤の在り方について-SINETの持続的整備に向けて-」
(平成26年5月9日公表)
- 4 社会学委員会 社会統計アーカイヴ分科会
提言「社会調査基盤のリノベーションに向けた官民学連携研究拠点の構築」
(平成26年5月30日公表)
- 5 食料科学委員会 水産学分科会
提言「東日本大震災から新時代の水産業の復興へ(第二次提言)」
(平成26年6月10日公表)
- 6 史学委員会 高校歴史教育に関する分科会
提言「再び高校歴史教育のあり方について」
(平成26年6月13日公表)
- 7 法学委員会 ジェンダー法分科会
社会学委員会 複合領域ジェンダー分科会
社会学委員会 ジェンダー研究分科会
史学委員会 歴史学とジェンダーに関する分科会
提言「男女共同参画社会の形成に向けた民法改正」
(平成26年6月23日公表)
- 8 史学委員会 文化財の保護と活用に関する分科会
提言「文化財の次世代への確かな継承—災害を前提とした保護対策の構築をめざして—」
(平成26年6月24日公表)
- 9 健康・生活科学委員会 看護学分科会

提言「ケアの時代を先導する若手看護学研究者の育成」

(平成26年7月4日公表)

10 言語・文学委員会・哲学委員会・史学委員会・地域研究委員会合同

アジア研究・対アジア関係に関する分科会提言

提言「人文学的アジア研究の振興に関する提言」

(平成26年7月10日公表)

○報告

1 臨床医学委員会 循環器・内分泌・代謝分科会

報告「生活習慣病研究のあり方」

(平成26年6月9日公表)

2 総合工学委員会 原子力事故対応分科会

報告「東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓」

(平成26年6月13日公表)

3 基礎医学委員会 機能医科学分科会

報告「生体機能システムの理解と予測・制御技術開発：計算生命科学の導入による医療・創薬の推進」

(平成26年6月23日公表)

4 基礎医学委員会・臨床医学委員会合同腫瘍分科会

報告「わが国におけるがん研究・診療・教育体制の問題点と対策について」

(平成26年7月9日公表)

第4 日本学術会議主催学術フォーラム

1 日本学術会議主催学術フォーラム「学術のビジョンと大型研究計画～マスタープラン2014～」を平成26年5月30日（金）に日本学術会議講堂にて開催した。

2 日本学術会議主催学術フォーラム「男女共同参画は学問を変えるか」を平成26年5月31日（土）に日本学術会議講堂にて開催した。

3 日本学術会議主催学術フォーラム「国際リニアコライダー（ILC）計画」を平成26年6月23日（月）に日本学術会議講堂にて開催した。

4 日本学術会議主催学術フォーラム「立法システム改革と立法学の再編」を平成26年7月6日（日）に日本学術会議講堂にて開催した。

第5 国際会議の開催

- 1 「第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会」を平成26年6月17日(火)～21日(土)に神奈川県にて開催した。
- 2 「第28回国際コンピュータ支援放射線医学・外科学会議」を平成26年6月24日(火)～29日(日)に福岡県にて開催した。

第6 日本学術会議地区会議

- 1 日本学術会議中部地区会議学術講演会「地方から世界を目指す先端研究—分子イメージングと遠赤外光—」を平成26年7月4日(金)に福井県にて開催した。

第7 会員の退職

幕内博康会員が、平成26年4月16日付けで定年退職した。
竹縄忠臣会員が、平成26年5月25日付けで定年退職した。
河野正憲会員が、平成26年7月3日付けで定年退職した。

第8 慶弔等

1 慶事

平成26年春の褒章受章者 4月29日付発令

【紫綬褒章】

小林 俊行 (元連携会員(第20期))

平成26年春の叙勲受章者 4月29日付発令

【瑞宝大綬章】

矢崎 義雄 (元会員(第18-19期))

【瑞宝重光章】

茅 陽一 (元会員(第18-19期))

北村惣一郎 (元会員(第20期)、元連携会員(第21-22期))

【瑞宝中綬章】

秋光 純 (元会員(第19期)、連携会員(第20-22期))

伊藤 學 (元会員(第14-16期))

井端 泰彦 (元会員(第19期)、元連携会員(第20-21期))

小川 智也（元連携会員（第 20-21 期））

小林 哲夫（元会員（第 19 期））

福井 文雅（元会員（第 17-18 期））

村松 岐夫（元会員（第 18、20 期））

2014年4月－7月における 活動報告

第167回臨時総会
2014年7月11日(金)
日本学術会議会長
大西隆

1. 最近の科学技術 イノベーション政策

- 科学技術イノベーション総合戦略(2014年6月)
- 伸び悩む我が国の研究開発投資を推進することにより、「科学技術創造立国」として復活させる
(日本再興戦略 2014年6月)
- 平成26年度科学技術に関する予算等の資源配分の方針
 - 科学技術イノベーション予算戦略会議
 - 科学技術重要施策アクションプランによる政策誘導
 - 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)
 - 革新的研究開発支援プログラム(ImPACT)

2. 日本学術会議の展望に関する検討

総合科学技術会議意見具申「日本学術会議の在り方について」(平成15年2月)

当面の改革案
(任期制、7部⇒3部、コオプ
テーション)

今回の改革後10年以内に、
日本学術会議の在り方の検討を行う

日本学術会議法の一部を改正する法律(平成16年4月)

平成17年10月～新体制でスタート

日本学術会議の新たな展望を考える有識者会議
(内閣府特命担当大臣(科学技術政策担当)の下で開催)

- ・ 有識者10名程度(学者5名、経済界2名、その他3名)で構成
- ・ 改革後の活動状況を評価し、日本学術会議の役割や位置付け、活動の活性化に向けた課題、組織・構成等について検討

【検討スケジュール(想定)】

平成26年7月31日 第1回会議開催

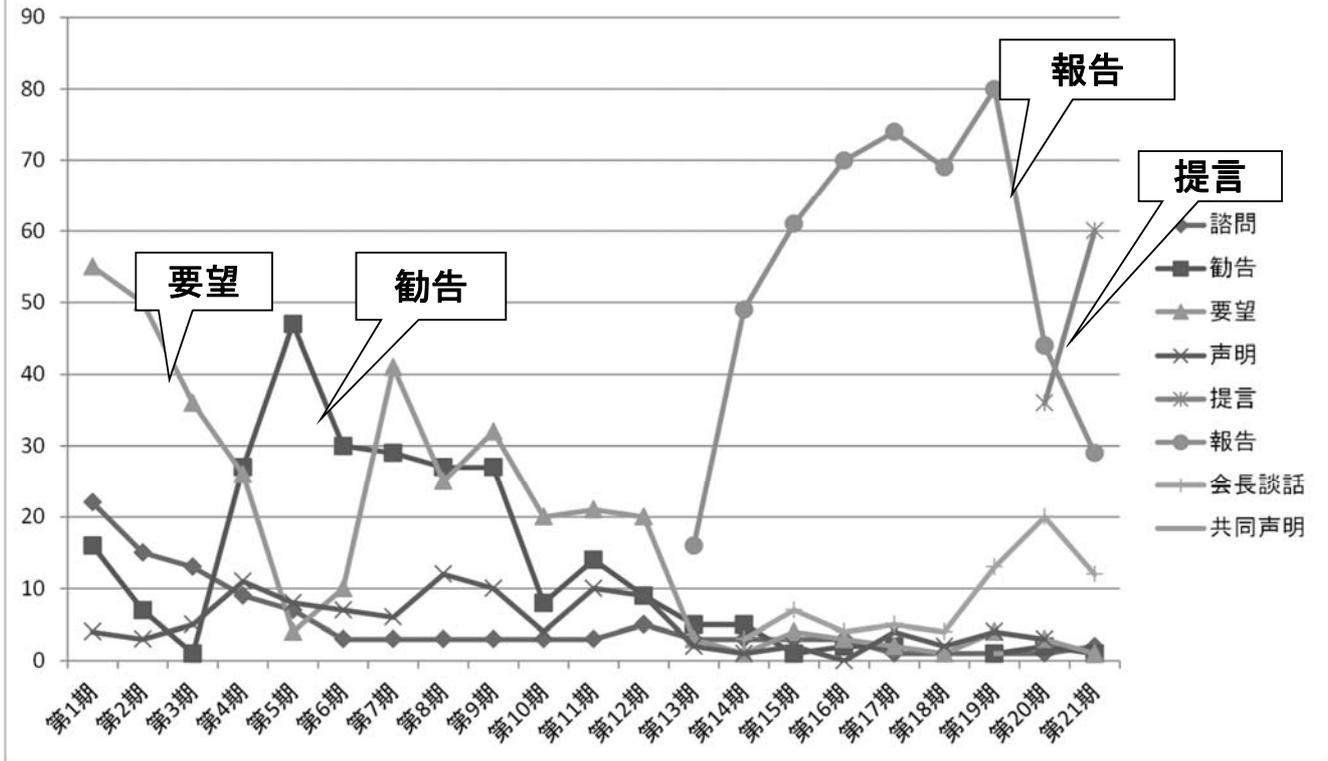
5～7回開催

平成26年度内メド 結論まとめ
平成27年4月以降 大臣への報告

3. 分かりやすい提言等の作成 — 提言等作成上の留意点

- ・ 委員会・分科会の設置趣旨と整合した提言等であること
- ・ 学術会議から既出の提言等との関係に留意
- ・ 特定の分野や組織への利益誘導と誤解されないよう
- ・ 提言の場合は、誰に向けて何をすべしと提言するのか
- ・ 読みやすさ: 論理展開と専門用語等に関する配慮
- ・ 要旨: 簡潔(~2頁)かつ独立文書として読めること
- ・ 記述・主張を裏付けるデータ、出典、参考文献の明記
- ・ 「コピペ」厳禁! 既発表の文章は自身のも含め適切な引用を

日本学術会議の対外意見表明活動



第167回 日本学術会議総会

5

4. 続発する研究に係る諸問題と日本学術会議の重要な役割

- ・ノバルティス社ディオバンの臨床研究不正**
 東京地方検察がノバルティス元社員を薬事法違反（誇大広告違反）の疑いにより逮捕
- ・STAP細胞論文のネイチャー掲載取り消し**
 英国の科学誌ネイチャーが同誌に掲載したSTAP細胞の論文を撤回
- ・高エネルギー加速器研究機構（KEK）の納品不正**
 年度末までに納品されていないにもかかわらず、納品完了の処理がなされていたことが発覚

第167回 日本学術会議総会

6

文部科学省「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」案（パブリックコメント中）

従来、研究活動における不正行為への対応が研究個人の責任に委ねられていたが、今後は大学等の研究機関が責任を持って不正行為の防止に関わることにより、対応を強化



不正行為の事前防止：研究倫理教育プログラムの開発と実施
学会が協力

大学等研究機関・配分機関における規程・体制の整備

不正行為の事後措置：当該大学等研究機関に調査委員会を設置する際に、配分機関・学会が
専門家の選定・派遣を支援

新ガイドラインの適用：平成27年4月1日～

7

第167回 日本学会議総会

文部科学省・学会・学術振興会・科学技術振興機構 「科学者の行動規範に基づく研修プログラム」案

1. 責任ある研究活動とは：社会における研究行為の責務
2. 研究計画を立てる際の責任：利益相反、コンプライアンス
3. 研究を進める上での責任：インフォームド・コンセント、
守秘義務、データ管理
4. 研究を発表する上での責任：オーサーシップ、FFP、二重投稿
5. 研究成果を守る上での責任：特許権、著作権、実験データ
6. 共同研究での責任：役割分担と責任明確化、国際共同研究
7. 研究資金を適切に使用する責任：公的研究費の使用ルール
8. 科学研究の質の向上に寄与する責任：世界の取り組み、
ピア・レビュー、倫理審査委員会
9. 社会の中で研究者が果たすべき責任

8

第167回 日本学会議総会



5. 国際活動

Science Council of Asia

- 第14回SCAを6月17-19日、クアラルンプールで開催
- SCA International Symposium
"Future Earth: Research for Global Sustainability and a Holistic Understanding of Sustainable Development in Asia"
- SCA規約改定
- 新規加盟機関承認(Myanmar Academy of Arts and Science, Academia Sinica)
- 新Officersの決定
新事務局長に吉野博第三部会員、新会長にはKumar氏(スリランカ国立科学アカデミー会長)が就任。



第167回 日本学術会議総会

9

futurearth

5. 国際活動

Future Earth

日本を含む5カ国が恒久事務局に決定 (2014.7.2 公表)

- 国際事務局: カナダ、フランス、日本(日本学術会議)、スウェーデン、アメリカ
- 地域ハブ: アジア(総合地球環境学研究所)、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中東北アフリカ

Future Earthとは

- 持続可能な地球環境と人間生活のための新たな地球環境研究の枠組み
- 文理を超えた学際研究
- 研究の全過程を通じた社会のステークホルダーとの協働

Future Earth to get globally distributed secretariat

Future Earth, the new international programme for global sustainability which brings together thousands of the world's leading researchers on global environmental change, will have a new secretariat with a unique and innovative structure that spans three continents.

The announcement came today from the International Council for Science, on behalf of the members of the Science and Technology Alliance for Global Sustainability (the Alliance).

The preferred bidder comprises five global hubs which will function as a single entity, and are located in Canada (Montreal), France (Paris), Japan (Tokyo), Sweden (Stockholm) and the United States (Colorado).

futurearth
research for global sustainability

ISSC
social science council



Search the web

ACTIVITIES | OUR MEMBERS | RESOURCES | WORLD SOCIAL SCIENCE REPORT | BLOG

ENT
ans Berkhout named
ior of Future Earth

FUTURE EARTH TO GET GLOBALLY DISTRIBUTED SECRETARIAT
published July 2, 2014



第167回 日本学術会議総会

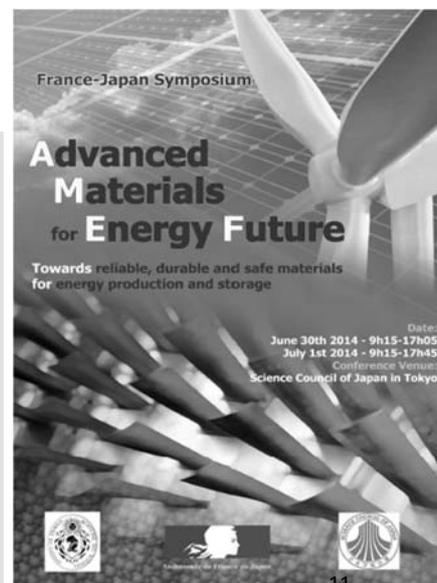
10

5.国際活動 日仏合同シンポジウム 「エネルギーの将来のための先端材料科学」

主催： 日本学術会議
共催： フランス科学アカデミー
在日フランス大使館
日時： 6月30日(月)～7月1日(火)
場所： 日本学術会議講堂
講演者： フランス 14名、日本15名



1. グローバルな問題とエネルギー転換
2. 原子力エネルギーのための先端材料
3. 再生可能エネルギーのための先端材料
4. 熱エネルギーの将来のための先端材料
5. エネルギー貯蔵と配電のための先端材料
6. エネルギー政策



第167回 日本学術会議総会